

セイコーウオッチ株式会社

本社 〒105-8467 東京都港区芝浦1-2-1

目次

■ 製品の特長	5	■ 日付・時刻を合わせるには	16
■ 各部の名称	6	より正確に時刻を合わせるために	19
■ 回転構造ケースについて	8	月末の日付合わせについて	20
■ ねじロックりゅうずについて	10	■ クロノグラフについて	22
ねじロックりゅうずの使いかた	11	クロノグラフ(ストップウオッチ機能)の使いかた	24
2 ■ ぜんまいの巻き上げについて	12	積算計測のしかた	26
巻き上げのめやす	12	■ レザーバンド用ワンプッシュ三つ折れ方式中留の使いかた	29
りゅうずを使ったぜんまいの巻き上げかた	13	■ アフターサービスについて	30
■ パワーリザーブ表示について	14	■ 補修用性能部品について	31
パワーリザーブ表示の見かた	15	■ 使用上の注意とお手入れのしかた	32
		■ こんなときには	42
		■ 製品仕様	44

このたびはイズルをお買い上げいただき、ありがとうございました。

SEIKOでは、時計づくり100有余年の伝統と、世界に誇る先進技術のすべてを注ぎ、製造・検査を実施しております。

イズルの優れた性能を保つために、この取扱説明書をよくお読みの上、

4 末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

この取扱説明書はお手もとに保管していただき、必要に応じてご覧ください。

■ 製品の特長

ぜんまいがほどこける力を唯一の動力源としながら、クォーツ時計と同等の高精度を実現したスプリングドライブは、セイコー独自の機構です。

スプリングドライブクロノグラフは、そのスプリングドライブ機構をベースに、世界初のスイープ運針センタークロノグラフを搭載しています。

ぜんまいの巻き上げは、自然な腕の動きで巻き上がる自動巻機構にくわえて、始動時の巻き上げに便利な手巻機構をそなえています。

持続時間は、ぜんまいを十分に巻き上げた状態で約72時間(約3日間)。

ぜんまいの巻き上げ状態(残量)がわかるパワーリザーブ表示が付いています。

秒針は完全になめらかな動きをするスイープ運針です。

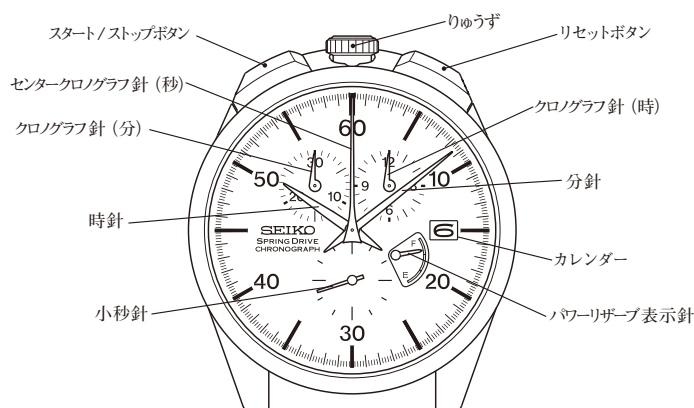


注意

スプリングドライブはぜんまいの力で動きます。パワーリザーブ表示を確認しながら、十分に巻き上げてご使用ください。

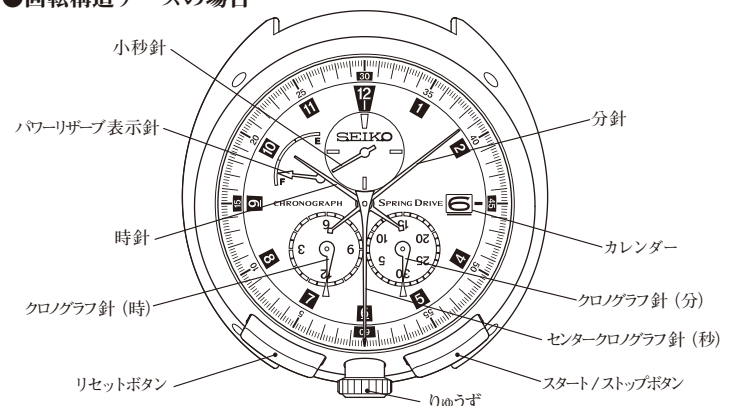
⇒ ■ パワーリザーブ表示について P. 14 参照

■ 各部の名称



※表示の位置やデザインは、モデルによって異なる場合があります。

● 回転構造ケースの場合



⇒ ● 回転構造ケースについて P. 8 参照 (次ページ)

※表示の位置やデザインは、モデルによって異なる場合があります。

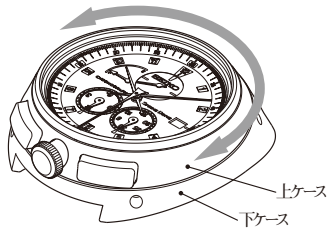
■回転構造ケースについて

ケースを回転させて時計とクロノグラフの機能を使い分けられるモデルがあります。回転させることで、使いたい機能の表示が明確になり使いやすくなります。

●ケースの回しかた

1. 片手で下ケースを持ちます。
2. もう一方の手で上ケースをしっかり持ってゆっくり回します。

左右どちらの方向にも回すことができます。ケースを回転させるときは上ケースの側面を持ち、ボタンやリウズに力がかからないようにして回してください。



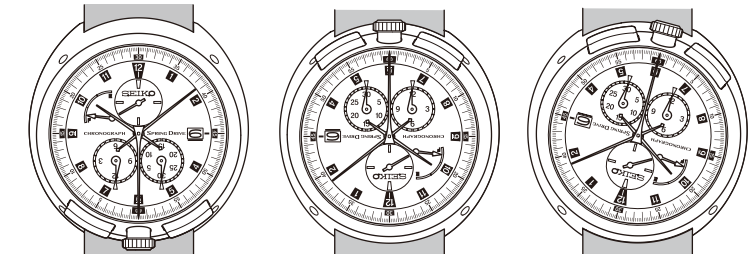
▲注意

1. 下ケースにある留めねじは、絶対にゆるめないでください。故障や紛失の原因になります。
2. ケースは、厚く特殊な形状をしています。携帯時に他のものにぶつけるなどして、思わぬケガをする可能性もありますので、携帯中は十分な注意が必要です。
3. ケースを回転させるときは、リウズの誤操作や故障を防ぐため、リウズをロックしてください。⇒ ■ねじロックリウズについて P.10 参照

●ケースの向きと機能の使いかた

時刻、日付、パワーリザーブの表示を確認するときは<例1>の向きにすると読みやすくなります。

クロノグラフを操作するときは<例2>または<例3>の向きにすると、ボタンが押しやすく、表示も見やすくなります。



<例1>時刻・日付・パワーリザーブを確認するとき

<例2>クロノグラフを使うとき

<例3>クロノグラフを使うとき

■ねじロックリウズについて

誤操作を防ぐために、使わないときにリウズをロックできる構造です。

●リウズの機能

ねじロックリウズ

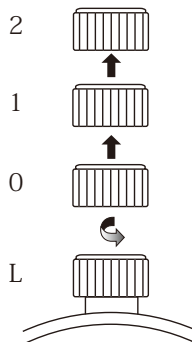
2 : 時刻合わせ

1 : 日付合わせ

0 : ねじロック解除位置: ぜんまい巻き上げ (手巻き)

L : ねじロック位置

ねじロック式のリウズを操作する場合は、ロックをはずしてください。誤操作を防ぐために、操作しないときは必ずロックをしておいてください。



●ねじロックリウズの使いかた

リウズを操作するときは、ロックをはずしてください。操作が終わったらロックをしてください。

ロックのししかた

リウズを矢印の方向に回してください。ねじがゆるんで、操作できるようになります。

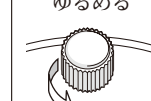
ロックのしかた

リウズを時計本体に軽く押しつけながら、矢印の方向に止まるところまで回してください。

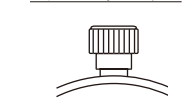
ロックされた状態



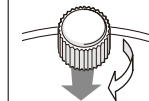
ゆるめる



ロックをはずした状態



押しつけながら



※ロックをはずした状態でリウズが引き出せます。

▲注意

ロックをするときは、ねじのかみあい具合に注意してゆっくりと押しながら回してください。無理に押し込むと、ねじ部(ケース)を壊す恐れがありますのでご注意ください。

■ぜんまいの巻き上げについて

この時計は自動巻式(手巻き)です。腕に着けてご使用いただくと、自然な腕の動きでぜんまいが自動的に巻き上がります。止まっている時計を駆動させるときは、リウズを回してぜんまいを巻き上げることをおすすめします。

●巻き上げのめやす

自動巻: 1日あたり12時間の携帯で、連続して3~5日間使用すると、フル巻き上げの状態になると想定しています。

手巻: リウズを5回転させると、約10時間ぶん駆動させることができます。

パワーリザーブ表示を確認してください。

⇒ ■パワーリザーブ表示について P.14 参照

※この時計のぜんまいは、必要以上に巻き上がらない構造になっています。

フル巻き上げの状態から更にもリウズを回しても、ぜんまいはそれ以上巻き上がりません。

リウズを回し続けても時計が壊れることはありませんが、無理な操作はお控えください。

※低温下(0℃以下)では、パワーリザーブ表示が1/6以上の状態でご使用ください。

●リウズを使ったぜんまいの巻き上げかた

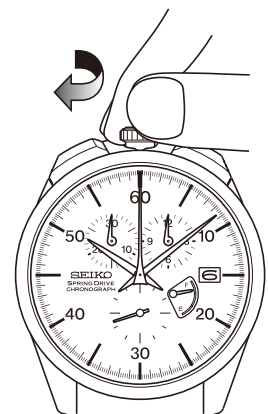
1. リウズのロックをはずしてください。
2. リウズを押し付けずに注意しながら、矢印の方向にゆっくり回して、パワーリザーブ表示がフル巻き上げの状態になるまで、ぜんまいを巻き上げてください。小秒針が動きはじめます。
3. 操作が終わったら、リウズをロックしてください。

⇒ ●ねじロックリウズの使いかた P.11 参照

⇒ ●パワーリザーブ表示の見かた P.15 参照

巻き上げに続いて時刻やカレンダーを合わせるときは、リウズをロックせずにそのまま操作してください。

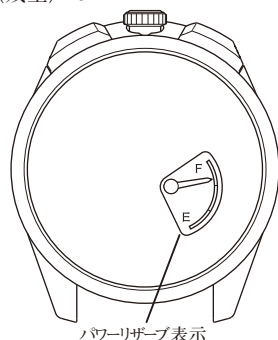
⇒ ■日付・時刻を合わせるには P.16 参照、●月末の日付合わせについて P.20 参照



■パワーリザーブ表示について

パワーリザーブ表示で、ぜんまいの巻き上げ状態(残量)のめやすが確認できます。

時計を腕からはずして置いておくときは、次に使用(携帯)するときまで動き続けるかどうかをパワーリザーブ表示で確認し、必要に応じてぜんまいを巻き上げておきましょう。(時計を止めないようにして使い続けるためには、余裕を持った時間ぶんを巻き上げるようにしましょう。)



パワーリザーブ表示

※持続時間はお客様の使用状況(時計を携帯、使用する時間や運動量など)によって異なります。

※1日の使用時間が短いときは、パワーリザーブ表示を確認の上、必要に応じてぜんまいを巻き上げてください。

●パワーリザーブ表示の見かた

ケースが回転しないタイプ			
ケースが回転するタイプ			
ぜんまいの状態	フル巻き上げ	半分程度	巻き上げなし
持続時間	約72時間 (約3日間)	約36時間 (約1日半)	時計が止まっている または 止まる直前の状態

※この時計のぜんまいは、必要以上に巻き上がらない構造になっています。

フル巻き上げの状態から更にもリウズを回しても、ぜんまいはそれ以上巻き上がりません。リウズを回し続けても時計が壊れることはありませんが、無理な操作はお控えください。

■日付・時刻を合わせるには

1. ぜんまいが巻き上げられた状態で、時計が動いていることを確認します。

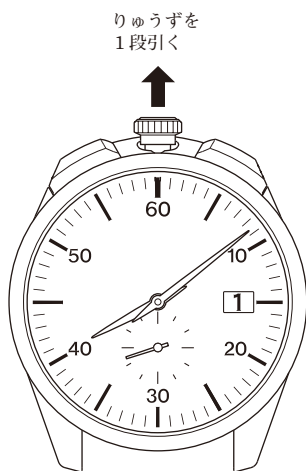
※日付・時刻を合わせるときは、必ず時計が動いている状態で行ってください。

16

2. りゅうずのロックをはずしてください。
⇒ ●ねじロックりゅうずの使い方 P. 11参照

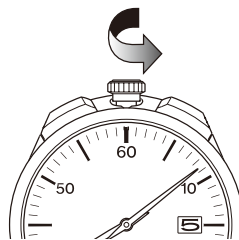
3. りゅうずを1段目まで引き出してください。
(小秒針は動き続けています)

※モデルによってりゅうずの位置が異なる場合があります。
⇒ ■各部の名称 P. 6 参照

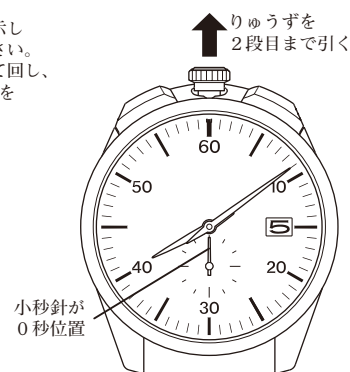


4. りゅうずを矢印の方向に回して日付を前日に合わせます。
(例) 合わせたい日付が「6日」の場合、「5日」に合わせます。

※時計の針が午後9時～午前1時までの間を示しているときは、日付の修正はしないでください。この場合はりゅうずを2段目まで引き出して回し、時刻を午前1時よりも進めてから、りゅうずを再び1段目にして日付を合わせてください。

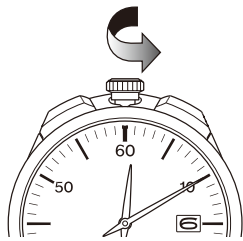


5. 小秒針が0秒位置にあるときにりゅうずを2段目まで引き出し、小秒針を止めます。



17

6. りゅうずを矢印の方向へ回して、合わせたい日付になるまで時刻を進めます。



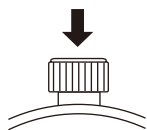
18

7. さらにりゅうずを矢印の方向に回して時刻を合わせます。合わせたい時刻の10分ほど手前から、分針をゆっくり進めて合わせてください。

※日付は24時間に1回変わるように設定されていますので、午前午後を間違えないように時刻を合わせてください。

8. 時報などに合わせてりゅうずを押し込みます。小秒針が動き始め、現在時刻に合った状態になります。りゅうずをロックすれば操作完了です。

⇒ ●ねじロックりゅうずの使い方 P. 11参照



●より正確に時刻を合わせるために

スプリングドライブ機構の構造上、下記の点に注意しながら操作していただくことにより正確に時刻が合わせられます。

1. 時刻を合わせる前に、ぜんまいを十分に巻き上げてください。(パワーリザーブ表示を見て、フル巻き上げの状態にしましょう。)
2. 止まっている時計を駆動させるときは、ぜんまいを十分に巻き上げてください。その後、時刻を合わせるときは、30秒間ほど小秒針が動いてからりゅうずを2段目に引き出してください。
3. りゅうずを2段目まで引き出すと小秒針が止まります。小秒針を止めている時間は30分以内にしてください。それ以上の時間りゅうずを引き出していたときは、一旦りゅうずを押し込み、30秒間ほど小秒針が動いてから時刻合わせを行ってください。
4. PM9:00～AM1:00の時間帯に時刻を合わせるときは、時針をPM8:00まで戻してから合わせてください。(カレンダーを回す歯車を、きちんとかみ合わせるための動作です。)

19

●月末の日付合わせについて

この時計の日付表示は1日～31日となっています。

小の月(2、4、6、9、11月)が終わった翌日などに、日付を合わせてください。

<例>小の月の翌月「1日」の朝に日付を合わせる場合
(日付が「31」になっている場合)

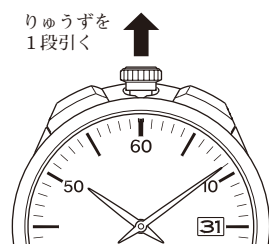
1. ぜんまいが巻き上げられた状態で、時計が動いていることを確認します。

※日付・時刻を合わせるときは、必ず時計が動いている状態で行ってください。

20

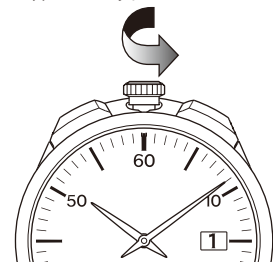
2. りゅうずのロックをはずしてください。
⇒ ●ねじロックりゅうずの使い方 P. 11参照

3. りゅうずを1段目まで引き出してください。



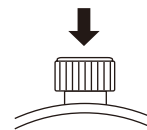
4. りゅうずを矢印の方向に回して日付を「1」に合わせます。

※時計の針が午後9時～午前1時までの間を示しているときは、日付の修正はしないでください。この場合はりゅうずを2段目まで引き出して回し、時刻を午前1時よりも進めてから、りゅうずを再び1段目にして日付を合わせてください。



21

5. りゅうずを押し込みます。りゅうずをロックすれば操作完了です。
⇒ ●ねじロックりゅうずの使い方 P. 11参照



■クロノグラフについて

クロノグラフとは、ストップウォッチ機能と時刻表示機能を合わせ持った時計のことです。

この時計では、最大12時間まで計測することができます。

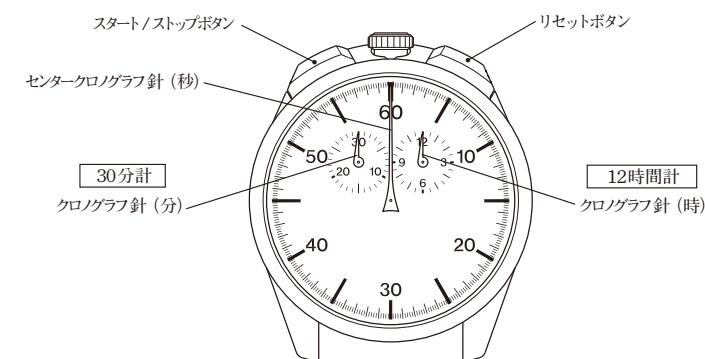
●お使いになる前に

1. ぜんまいを十分に巻き上げてください。(パワーリザーブ表示を見て、フル巻き上げの状態にしましょう。)ストップウォッチ機能を使うときは、必ず時計が駆動している状態で行ってください。
2. すべてのクロノグラフ針が0位置に合っているか確認してください。合っていないときはリセットボタンを押してください。

22

※ストップウォッチの動作中にりゅうずを引き出すと、計測が止まりますのでご注意ください。

●クロノグラフ部の名称とはたらき



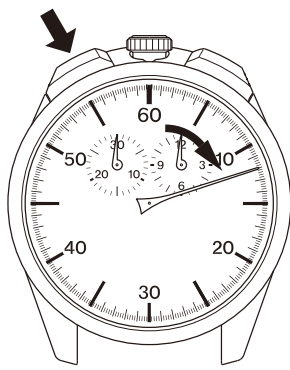
23

※表示の位置やデザインは、モデルによって異なることがあります。
※ケースが回転できるモデルはクロノグラフを使用できる向きにケースを回転させます。
⇒ ■回転構造ケースについて P. 8参照

●クロノグラフ（ストップウォッチ機能）の使いかた

24

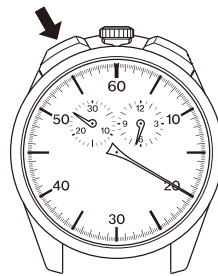
- ぜんまいが巻き上げられた状態で、時計が動いていることを確認します。
- 計測を始める
スタート/ストップボタンを押すとクロノグラフ針が動き、計測が始まります。



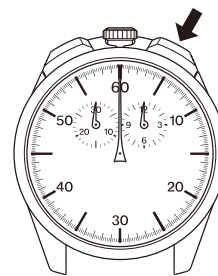
※表示の位置やデザインは、モデルによって異なる場合があります。
※ケースが回転できるモデルはクロノグラフを使用できる向きにケースを回転させます。
⇒ ●回転構造ケースについて P. 8 参照

- 計測をとめる
計測したいタイミングで再度スタート/ストップボタンを押すとクロノグラフ針が止まります。
※30分計は1時間で2周します。30分計を読み取るときは、12時間計の表示をめやすにしてください。

例：6時間25分20秒



- 針を戻す
ストップした状態でリセットボタンを押すとすべてのクロノグラフ針が0位置に戻ります。

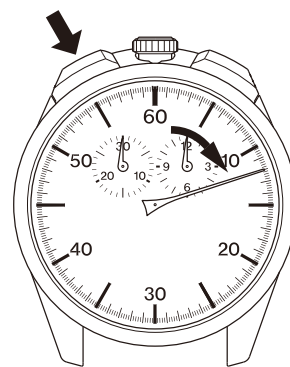


25

●積算計測のしかた

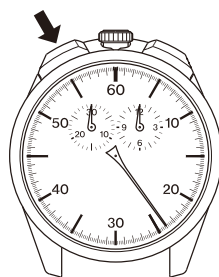
26

- ぜんまいが巻き上げられた状態で、時計が動いていることを確認します。
- 計測を始める
スタート/ストップボタンを押すとクロノグラフ針が動き、計測が始まります。

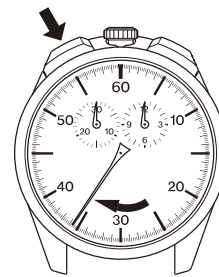


※表示の位置やデザインは、モデルによって異なる場合があります。
※ケースが回転できるモデルはクロノグラフを使用できる向きにケースを回転させます。
⇒ ●回転構造ケースについて P. 8 参照

- 計測をとめる
計測したいタイミングで再度スタート/ストップボタンを押すとクロノグラフ針が止まり、計測値が表示されます。



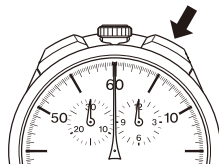
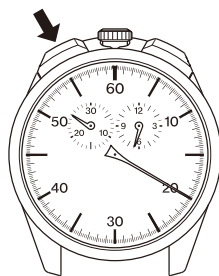
- 計測を再スタートする
スタート/ストップボタンを押すと3でストップした位置からクロノグラフ針が動き始めます。



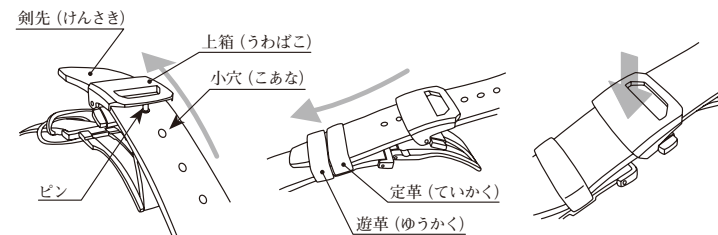
27

- 計測をとめる
計測したいタイミングでスタート/ストップボタンを押すとクロノグラフ針が止まります。このときの計測値は、1回目と2回目のデータの合計（積算値）です。
- 繰り返し積算する
必要に応じて4、5を繰り返します。このように、スタート/ストップボタンを繰り返し押すと、積算計として計測することができます。
- 針を戻す
ストップした状態で、リセットボタンを押すと、すべてのクロノグラフ針が0位置に戻ります。

28



■レザーバンド用ワンプッシュ三つ折れ方式中留の使いかた



- 上箱を持ち上げて、バンドの剣先（12 時側先端）を上箱の中に通します。適当な長さのところでピンを小穴に入れて、バンドを固定します。
- 剣先を、定革と遊革に通します。
- 上箱をカチッと音がするまで押して、しっかりと留めます。

※装着するときは、バンドの剣先（12 時側先端）を定革・遊革に入れた後で、中留を留めてください。

29

■アフターサービスについて

30

- お買い求めいただきましたイズルは、厳重な検査・調整を行った後、お手もとにお届けしております。しかし、取扱説明書に沿った正常なご使用状態で、万が一、保証期間内に不具合が生じた場合には、保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。メーカーにて無料で修理・調整させていただきます。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間（ムーブメントについては2年間）です。その他の保証内容の詳細については、保証書に記載してあります。
- 保証期間経過後の修理、およびイズルについてのご相談は、お買い上げ店で承っております。その他わからない点がございましたら、下記の弊社お客様相談室までお問い合わせください。

セイコーウォッチ（株）お客様相談室
イズル専用フリーダイヤル 0120 - 302 - 617
受付時間：月曜～金曜 9:30～21:00
土曜・日曜・祝日 9:30～17:30

■補修用性能部品について

- イズルの補修用性能部品の保有期間は、通常10年を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理が可能です。（補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに必要な修理用部品です。）
- 修理可能な期間は、ご使用条件により著しく異なります。精度が元通りにならない場合もありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
- 修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替部品を使用させていただきますのでご了承ください。
- その他わからない点がございましたら、左記の弊社お客様相談室までお問い合わせください。

31

■使用上の注意とお手入れのしかた

32

注意 **日常のお手入れ**

- ・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとしみて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので、常に清潔にご使用ください。
- ・時計を外したときに、柔らかい布などで汚れや、汗、水分をふき取るだけで、ケース・バンド及びパッキンの寿命が違ってきます。

〈革バンド〉

- ・革バンドは、柔らかい布などで吸い取るように軽くふいてください。
- ・革バンドは、ときどき柔らかい歯ブラシなどを使い、部分洗いなどのお手入れをお願いします。

〈金属バンド〉

- ・金属バンドは、ときどき柔らかい歯ブラシなどを使い、部分洗いなどのお手入れをお願いします。

注意 **かぶれやアレルギーについて**

- ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
- ・かぶれやすい体質の人や、体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
- ・かぶれの原因として考えられるのは、
 1. 金属・皮革に対するアレルギー
 2. 時計本体及びバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗などです。
- ・万が一、肌などに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し、医師にご相談ください。

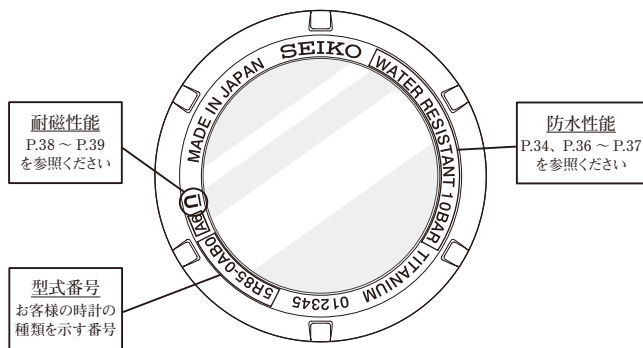
33

34

警告 **防水性能**

- ・日常生活用防水（3気圧）の時計は水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。
- ・日常生活用強化防水（5気圧）の時計は、スキンドビングを含めて全ての潜水に使用できません。
- ・日常生活用強化防水（10、20気圧）の時計は、飽和潜水／空気潜水には使用できません。

時計の裏ぶたでも性能と型式の確認ができます



※上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

35

36

注意 **防水性能**

・時計の文字板、または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、ご使用ください。

時計の防水表示 上段：文字板 下段：裏ぶた	使用例 防水の基準	使用例	
表示なし	非防水	×	×
表示なし WATER RESIST	日常生活用防水 (3気圧防水)	○	×
表示なし WATER RESIST または WATER RESIST 5BAR	日常生活用強化防水 (5気圧防水)	○	×
表示なし または WATER RESIST 10BAR WATER RESIST 10BAR	日常生活用強化防水 (10気圧防水)	○	×
表示なし または WATER RESIST 20BAR WATER RESIST 20BAR	日常生活用強化防水 (20気圧防水)	○	×

・水分のついたまみりゆうずを回したり、引き出したりしないでください。時計内部に水分が入ることがあります。

水に関係のない仕事（農水産園芸、食堂など）やスポーツ（水泳やヨット）で使用できる程度	空気ポンプを使用しない潜水（スキューバ潜水）で使用できる程度	空気ポンプを使用する潜水（スキューバ潜水）で使用できる	ヘリウムガスを使用する潜水方式（飽和潜水）で使用できる
×	×	×	×
×	×	×	×
○	×	×	×
○	○	×	×
○	○	×	×

37

38

●耐磁性能について（磁気の影響）

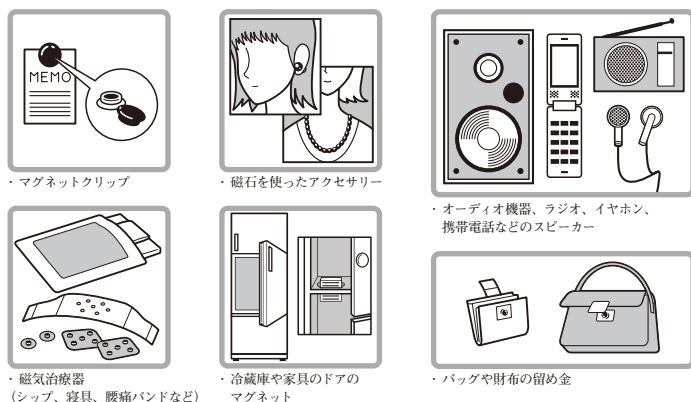
・イズルのスプリングドライブは、JIS 1種の耐磁水準をクリアしています。日常生活において磁界を発生する機器に5cmまで近づけても、ほとんどの場合、性能を維持できる耐磁性能を備えておりますが、強い磁界に遭遇するとムーブメント部品が磁気を帯びてしまい、精度が狂ってしまうことがあります。身の周りの強い磁界を発生する機器（磁石を使った健康器具、スピーカー、携帯電話など）の5cm以内に近づけないようご注意ください。

JIS 耐磁時計種類	耐磁性保証水準	耐磁表示（裏ぶた）	耐磁性
1種	4800A/m		日常生活において磁界を発生する機器に5cmまで近づけても、ほとんどの場合、性能を維持できる耐磁性水準

・なお、磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲（平均月差±15秒）を超えている場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。

●時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品

・身の周りには、このように磁気を発するものがあります。



39

●保管について

- ・-10℃～+60℃からはずれた温度下では、機能が劣化したり、停止したりする場合があります。
- ・磁気の影響（テレビ、スピーカー、磁気ネックレスなど）があるところに放置しないでください。
- ・強い振動のあるところに放置しないでください。
- ・極端にホコリの多いところに放置しないでください。
- ・薬品の蒸気が発散しているところや、薬品に触れるところに放置しないでください。（薬品の例：ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、およびそれらを含むもの、ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤など、水銀、ヨウ素系消毒液など）
- ・温泉や、防虫剤の入った引き出しなど、特殊な環境に放置しないでください。

40

●分解掃除による点検調整（オーバーホール）について

- ・この時計の点検、および分解掃除はメーカーにて行います。お買い上げ店には、メーカーへ依頼するようお申しつけください。
- ・長くご愛用いただくために、3～4年に1回程度の分解掃除による点検調整（オーバーホール）をおすすめします。
※この時計のムーブメントは、機構の性質上、動力を伝達する歯車部分に常に力が加わっています。これらが正常に機能するためには、定期的な部品の洗浄、油の交換、精度の調整、機能チェック、消耗部品の交換などが大切です。特に、お買い上げ後3～4年目の分解掃除による点検調整（オーバーホール）を行うことが、長く使用するために重要です。
ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、止まりにいたることがあります。また、パッキン等の部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。分解掃除による点検調整（オーバーホール）を、お買い上げ店にご指定ください。部品交換のときは、「純正部品」とご指定ください。分解掃除による点検調整（オーバーホール）の際には、パッキンやバネ棒の交換もあわせてご依頼ください。
- ・その他わからない点がございましたら、下記の弊社お客様相談室までお問い合わせください。
 セイコーウオッチ（株） お客様相談室
 イズル専用フリーダイヤル 0120 - 302 - 617
 受付時間：月曜～金曜 9:30～21:00 土曜・日曜・祝日 9:30～17:30

41

■こんなときには

現象	考えられる原因
時計が止まっている (クロノグラフ針が動かない)	ぜんまいの巻き上げがされていない
毎日使用しているが、パワーリザーブ表示が上がらない	携帯時間が少ないか、あるいは腕の動きが少ない
時計が一時的に進む/遅れる	暑いところ、または寒いところへ放置した
	磁気を発生するものそばに置いた
	落としたり、強くぶつかった、または激しいスポーツをしたなど、強い衝撃や振動が加えられた
ガラスのくもりが消えない	パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った
パワーリザーブ表示の残量があるのに時計が止まった	低温下(0℃以下)に放置した
止まっている時計を駆動させた直後、時刻合わせをしたら、秒針の進針が早く見えた	動き始めのときは調速機構が働くまで、やや時間がかかります。(故障ではありません)
日付が日中に変わる	時刻が12時間ずれている

※その他の現象はお買い上げ店にご相談ください。

42

このようにしてください
ぜんまいを巻き上げ、時刻を合わせ直してご使用ください。 携帯中や時計を外す際は、パワーリザーブ表示の針を確認し、必要に応じてぜんまいを巻いてください。 携帯する時間を長くしてください。または、パワーリザーブ表示に注意し、時計をはずす際に、次に携帯するまでの身に着けない時間の分を、りゅうずを回してぜんまいを巻き上げておいてください。 常温に戻れば元の精度に戻ります。時刻を合わせ直してください。 この時計は気温5℃～35℃で腕に着けたときに安定した時間精度が得られるように調整してあります。 磁気を遠ざけると、元の精度に戻ります。時刻を合わせ直してください。 元に戻らない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
時刻を合わせ直してください。 元に戻らない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
お買い上げ店にご相談ください。
低温下(0℃以下)では、パワーリザーブ表示が「1/6」以下になると時計が止まる場合があります。りゅうずを回してぜんまいを巻いてください。
調速機構はたらくまでに数秒間かかります。 より正確に時刻を合わせるには、30秒程度秒針が動いてから、時刻合わせをしてください。
りゅうずを回したときに日付が変わるところが午前0時です。 午前・午後を確認して、再度時刻を合わせてください。

⇒ ●りゅうずを使ったぜんまいの巻き上げかた P.13、●日付・時刻を合わせるには P.16

43

■製品仕様

- 1.基本機能…… 3針(時・分・小秒針)、カレンダー表示、パワーリザーブ表示、ストップウォッチ機能:センタークロノグラフ針(秒)、クロノグラフ針(時・分)
- 2.水晶振動数… 32,768Hz
- 3.精度……… 平均月差 ±15秒以内(日差±1秒相当)
※気温5℃～35℃において腕に着けた場合
- 4.作動温度範囲・ -10℃～+60℃
※低温下(0℃以下)では、パワーリザーブ表示が1/6以上の状態でご使用ください。
- 5.駆動方式…… ぜんまい巻きく自動巻(手巻つき) >
- 6.運針方式…… スイープ運針
- 7.持続時間…… 通常時・ストップウォッチ機能作動時:約72時間(約3日間)
(パワーリザーブ表示がフル巻き上げの場合)
※使用環境により、持続時間が短くなる可能性があります。
- 8.電子回路…… 発振・分周・スプリングドライブ制御回路(C-MOS-IC):1個
- 9.使用石数…… 49石
※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

44

CONTENTS

■ CHARACTERISTICS	49	■ HOW TO SET THE DATE AND TIME	60
■ NAMES OF THE PARTS	50	Tips for more accurate time setting.....	63
■ ROTATABLE WATCHCASE	52	Manual date adjustment at the end of the month	64
■ SCREW LOCK TYPE CROWN	54	■ CHRONOGRAPH	66
How to use the screw lock type crown	55	How to use the chronograph (stopwatch function)	68
46 ■ HOW TO WIND THE MAINSPRING	56	Accumulated elapsed time measurement	70
Guide for winding state of the mainspring	56	■ HOW TO USE THE THREE-PIECE FOLDOVER CLASP FOR A LEATHER BAND	73
How to manually wind the mainspring by turning the crown	57	■ REMARKS ON AFTER-SALES SERVICING	74
■ POWER RESERVE INDICATOR	58	■ REMARKS ON REPLACEMENT PARTS	75
How to read the power reserve indicator	59	■ TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH	76
		■ TROUBLESHOOTING	86
		■ SPECIFICATIONS	88

You are now the proud owner of an IZUL watch. IZUL watches are designed and manufactured to operate with extremely high accuracy by taking advantage of SEIKO'S more than 100 years of experience in watch making and the advanced technology that SEIKO can boast

48 to the world.

To preserve the highest quality of your IZUL watch, please read the instructions in this booklet carefully for its proper use and care, and keep this booklet for ready reference.

■ CHARACTERISTICS

Spring Drive, the unique mechanism made available only by SEIKO technology, ensures quartz accuracy while using the mainspring as its sole power source.

With Spring Drive as its basic structure, the Spring Drive Chronograph features the world's first center chronograph that has a glide-motion second hand.

In addition to the self-winding mechanism, which uses the natural motion of the wearer's arm as a power source to wind its mainspring, the watch is equipped with the manual winding mechanism, which is convenient to wind the mainspring when you start using the watch.

The watch keeps working for approximately 72 hours (three days) when the mainspring is fully wound.

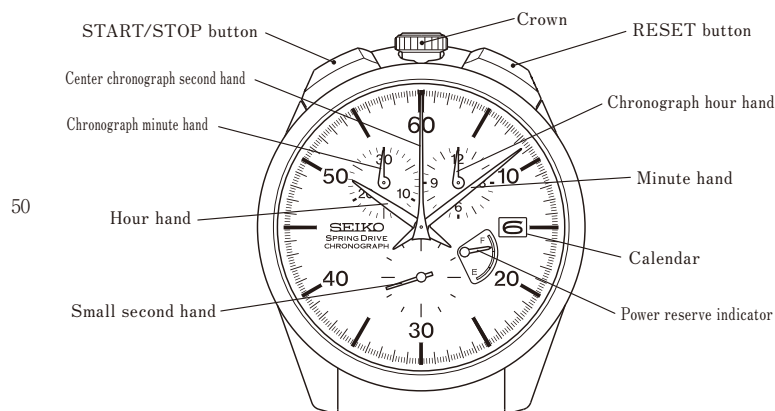
The watch features the power reserve indicator to show the winding state of the mainspring.

The glide-motion second hand that moves around the dial in a perfectly smooth movement is one of the remarkable features of this watch.

49

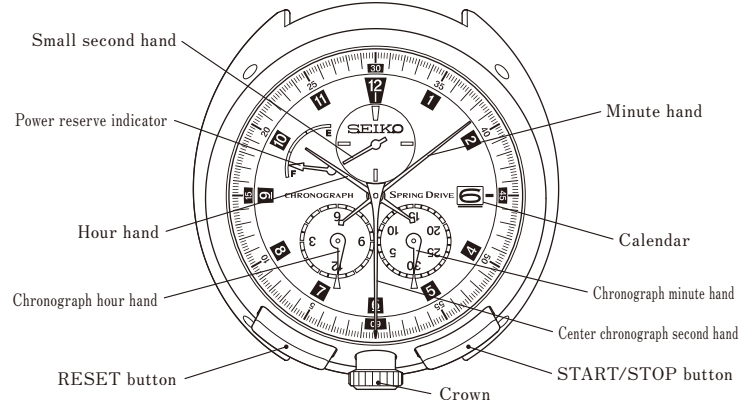
▲ CAUTION Spring Drive works by the power provided by the mainspring. Remember to check the power reserve indicator and keep the mainspring of the watch sufficiently wound while using the watch. Refer to "POWER RESERVE INDICATOR" on page 58.

■ NAMES OF THE PARTS



※ The orientation and design of the display may vary depending on the model.

● For models with a rotatable watchcase



Refer to "ROTATABLE WATCHCASE" on the following page 52.

※ The orientation and design of the display may vary depending on the model.

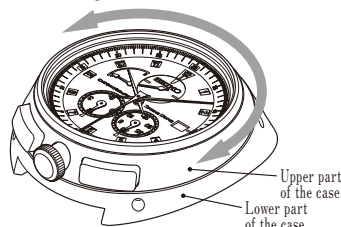
■ ROTATABLE WATCHCASE

Some models have a rotatable watchcase, a special structure which allows you to rotate the watchcase to make viewing the display and using the functions easier according to each function of the watch.

● How to rotate the case

1. Hold the lower part of the case with one hand.
2. Securely hold the upper part of the case with the other hand and slowly rotate it.

The case can be rotated in either direction. When rotating the case, hold the side surface of the upper part of the case, and avoid pressing the button or crown.



▲ CAUTION

1. Never loosen the setscrews attached to the lower part of the case. Doing so may cause damage or result in loosening them.
2. The case of this watch is thick and has a unique shape. While wearing the watch, be careful not to hit the watch against other objects as this may cause you injuries.
3. When rotating the case, ensure that the crown is securely locked, in order to prevent it from any malfunctions or damages. Refer to "SCREW LOCK TYPE CROWN" on page 54.

52

● Positioning of the watchcase for different functions

To check the time, date and power reserve indicator, position the watchcase as shown in illustration 1. This makes viewing the display easier.

To use the chronograph, position the watchcase as shown in illustration 2 or 3. This makes pressing the button and viewing the display easier.



Illustration 1
To check the time, date and power reserve indicator

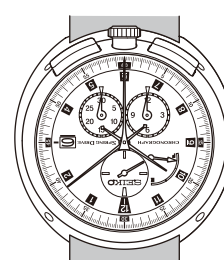


Illustration 2
To use the chronograph

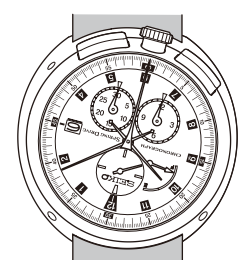


Illustration 3
To use the chronograph

53

■ SCREW LOCK TYPE CROWN

The watch features a screw-lock mechanism that can securely lock the crown and buttons to prevent any operational errors when they are not being operated.

● Function of the crown

Screw lock type crown

2: time setting

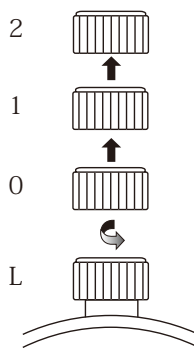
1: date setting

0: unlocked position: winding the mainspring (by hand)

L: locked position

Before operating the screw lock type crown, it is necessary to unlock it.

In order to prevent any operational errors, once you have finished operating the crown, make sure to relock it.



54

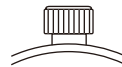
● How to use the screw lock type crown

It is necessary to unlock the screw lock type crown before operating it. Once you have finished operating the crown, make sure to relock it.

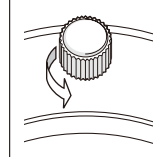
How to unlock the screw lock type crown

Turn the crown in the direction shown by the arrow to unscrew it. Now the crown can be operated.

Screw lock type crown is locked.



To loosen



How to lock the screw lock type crown

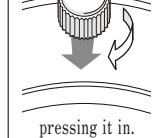
Turn the crown in the direction shown by the arrow while gently pressing it in toward the watch body until it stops.

Screw lock type crown is unlocked.



※ The crown can be pulled out only while it is unlocked.

Turn the crown while pressing it in.



55

CAUTION When locking the crown, turn it slowly with care, ensuring that the screw is properly engaged. Be careful not to forcibly push it in, as doing so may damage the screw hole in the case.

■ HOW TO WIND THE MAINSPRING

This watch is a self-winding watch equipped with a manual winding mechanism. When the watch is worn on the wrist, the motion of the wearer's arm winds the mainspring of the watch. When first using a stopped watch, it is recommended that you manually wind the mainspring by turning the crown.

● Guide for winding state of the mainspring

Self-winding: The mainspring of the watch is designed to be fully wound when it is worn for twelve hours per day for three to five consecutive days.

Manual winding: Five full rotations of the crown will provide the power to run the watch for approximately ten hours.

Observe the power reserve indicator to check the level of the remaining power.

Refer to "POWER RESERVE INDICATOR" on page 58.

※ The watch employs a device to prevent overwinding of the mainspring. Once the mainspring is fully wound, the mainspring slips inside, disengaging the winding mechanism. When this happens, you can still turn the crown without damaging the watch, however, please refrain from excessive operation of the mainspring.

※ Under a low-temperature condition (below 0°C), always keep at least one-sixth of the watch power shown by the power reserve indicator.

56

● How to manually wind the mainspring by turning the crown

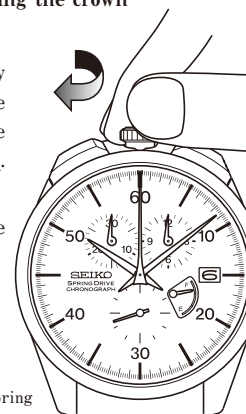
1. Unlock the crown.

2. Slowly turn the crown in the direction shown by the arrow to wind the mainspring with extra care not to press it in. Wind the mainspring until the power reserve indicator shows a full-wound state. Immediately, the small second hand starts moving.

3. Once you finish winding the mainspring, make sure you relock the crown.

※ Refer to "How to use the screw lock type crown" on page 55.

※ Refer to "How to read the power reserve indicator" on page 59.



57

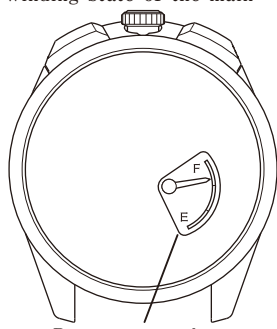
In order to set the time and calendar after winding the mainspring manually, do not relock the crown but continue the procedures.

※ Refer to "HOW TO SET THE DATE AND TIME" on page 60, and "Manual date adjustment at the end of the month" on page 64.

■ POWER RESERVE INDICATOR

The power reserve indicator lets you know the winding state of the mainspring (remaining amount of power).

Before removing the watch from your wrist, observe the power reserve indicator to check if the watch has stored enough power to keep running until the next time you wear it. If necessary, wind the mainspring. (To prevent the watch from stopping, wind the mainspring to store the excess power that will allow the watch to run for extra time.)



Power reserve indicator

※ The continuous operable time of the watch may vary depending on actual use conditions, such as the number of hours you wear the watch or the extent of your movement while wearing it.

※ In a case where you wear the watch for a short period of time each day, observe the power reserve indicator to check the level of the remaining power. If necessary, manually wind the mainspring.

58

● How to read the power reserve indicator

Models without a rotatable watchcase			
Models with a rotatable watchcase			
Winding state of the mainspring	Fully wound	Half wound	Unwound
Operable hours	Approximately 72 hours (3 days)	Approximately 36 hours (1.5 days)	The watch either stops or is running down.

※ The watch employs a device to prevent overwinding of the mainspring. Once the mainspring is fully wound, the mainspring slips inside, disengaging the winding mechanism. When this happens, you can still turn the crown without damaging the watch, however, please refrain from excessive operation of the mainspring.

59

■ HOW TO SET THE DATE AND TIME

1. Make sure that the mainspring is sufficiently wound and the watch is working.

※ When setting the date and time, ensure that the watch is working.

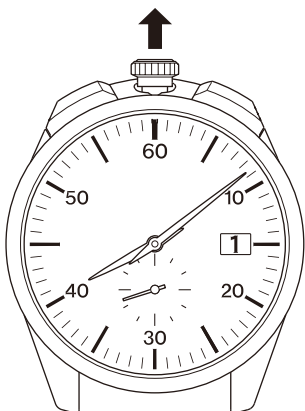
2. Unlock the crown.

Refer to "How to use the screw lock type crown" on page 55.

3. Pull out the crown to the first click. (The small second hand continues moving.)

※ The location of the crown may vary depending on the model. Refer to "NAMES OF THE PARTS" on page 50.

Pull out the crown to the first click.

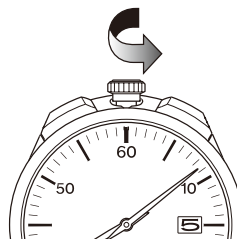


60

4. Turn the crown in the direction shown by the arrow to set the date to the previous date.

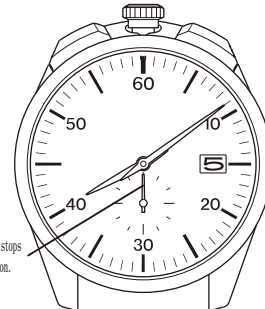
(Example) In case you wish to set the date to "6", set the date to "5" at this stage.

※ Do not set the date when the hands of the watch are indicating any time between 9:00PM and 1:00AM. To set the date during this time period, pull out the crown to the second click and turn it to temporarily advance the time to after 1:00AM, and then push the crown back to the first click to set the date.



5. Pull out the crown to the second click when the small second hand is pointing at the 0 second position. The small second hand will stop on the spot.

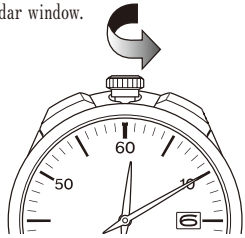
※ Pull out the crown to the second click.



The small second hand stops pointing at the 0 position.

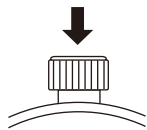
61

6. Turn the crown in the direction shown by the arrow until the date you wish to set appears in the calendar window.



8. Push the crown back in simultaneously with a time signal. The small second hand starts moving, and the watch indicates the current time. Make sure to relock the crown.

Refer to "How to use the screw lock type crown" on page 55.



7. Continue to turn the crown in the same direction to set the time. As the minute hand approaches the position approximately 10 minutes behind the correct time, slowly advance the minute hand to the exact minute (s) you wish to set.
 ※ The date changes once every 24 hours. When setting the time, make sure that AM/PM is correctly set.

62

● **Tips for more accurate time setting**

Keep in mind the following points in order to set the time more accurately.

1. Before setting the time, wind the mainspring sufficiently. (Ensure that the power reserve indicator is showing a full-wound state.)
2. When starting to use a watch after it stops, wind the mainspring sufficiently. To set the time after that, wait for approximately 30 seconds after the small second hand starts to move, then pull the crown out to the second click.
3. The small second hand will stop moving while the crown is at the second click. Do not stop the small second hand movement for longer than 30 minutes. If the stoppage of the small second hand movement exceeds 30 minutes, push the crown back in, and wait for at least 30 seconds after the small second hand restarts moving, and then continue the time setting.
4. To set the time during any time between 9:00 P.M. and 1:00 A.M., temporarily set the hour hand back to 8:00 P.M., and then set the time. (This procedure is required to ensure the proper engagement of the calendar driving wheel.)

63

● **Manual date adjustment at the end of the month**

This watch is designed to display the date from the 1st to the 31st every month. Therefore, manual date adjustment is required on the first day after a month that has less than 31 days; February, April, June, September and November.

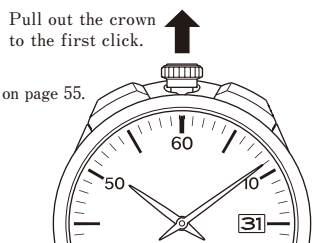
Example: To set the date on the morning of the 1st day of a month that follows a non-31day month. (when the date is displayed as "31" instead of "1")

1. Make sure that the mainspring is sufficiently wound and the watch is working.
 ※ When setting the date and time, ensure that the watch is working.

2. Unlock the crown.

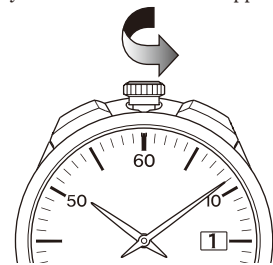
Refer to "How to use the screw lock type crown" on page 55.

3. Pull out the crown to the first click.



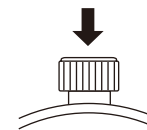
4. Turn the crown in the direction shown by the arrow until "1" appears in the calendar window.

※ Do not adjust the date when the hands of the watch are indicating any time between 9:00PM and 1:00AM. To adjust the date during this time period, pull out the crown to the second click and turn it to temporarily advance the time to after 1:00AM, and then push the crown back to the first click to set the date.



5. Push the crown back in. Make sure to relock the crown.

Refer to "How to use the screw lock type crown" on page 55.



64

65

■ **CHRONOGRAPH**

A chronograph is a watch that has a stopwatch function in addition to a time display function.

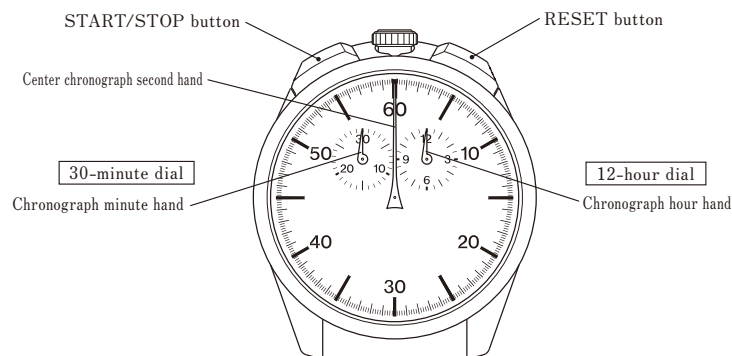
This watch features a chronograph which can measure up to 12 hours.

● **Before using the chronograph**

1. Make sure that the mainspring is sufficiently wound. (Ensure that the power reserve indicator shows a full-wound state of the mainspring. When using the chronograph, ensure that the watch is working.)
2. Make sure that all the chronograph hands are pointing at the 0 position. If not, press the RESET button.

※ Do not pull out the crown while the chronograph is working, as doing so will stop the measurement.

● **Names of the chronograph parts and their function**



※ The orientation and design of the display may vary depending on the model.
 ※ For models with a rotatable watchcase, rotate the watch to the position for chronograph use. Refer to "ROTATABLE WATCHCASE" on page 52.

66

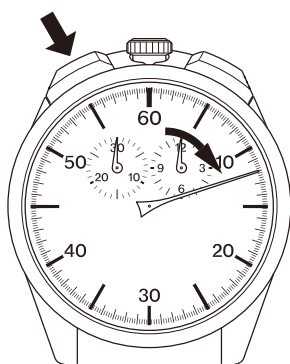
67

● **How to use the chronograph (stopwatch function)**

1. Make sure that the mainspring is sufficiently wound and the watch is working.

2. Start measuring time.

Upon pressing of the START/STOP button, the chronograph hands start moving and the chronograph starts measuring time.

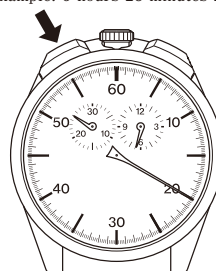


※ The orientation and design of the display may vary depending on the model.
 ※ For models with a rotatable watchcase, rotate it to the position for chronograph use. Refer to "ROTATABLE WATCHCASE" on page 52.

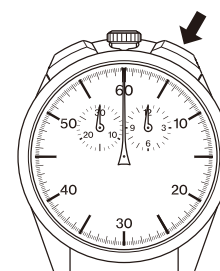
3. Stop measuring time. At the moment you want to finish the measurement, press the START/STOP button again to stop the chronograph hands.

※ The chronograph minute hand on the 30-minute dial completes two full rotations in an hour. To correctly read the indication of the chronograph minute hand, check the position of the chronograph hour hand on the 12-hour dial in combination with the position of the chronograph minute hand.

Example: 6 hours 25 minutes 20 seconds



4. Reset the chronograph hands. After stopping the chronograph hands, press the RESET button to return all the chronograph hands to the 0 position.



68

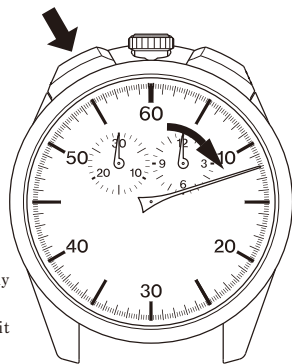
69

● Accumulated elapsed time measurement

1. Make sure that the mainspring is sufficiently wound and the watch is working.

2. Start measuring time.

Upon pressing of the START/STOP button, the chronograph hands start moving and the chronograph starts measuring time.

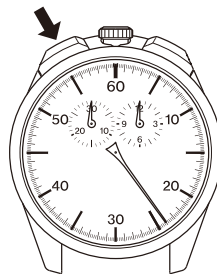


※ The orientation and design of the display may vary depending on the model.

※ For models with a rotatable watchcase, rotate it to the position for chronograph use. Refer to "ROTATABLE WATCHCASE" on page 52.

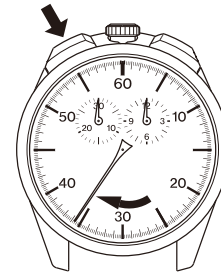
3. Stop measuring time.

At the moment you want to finish the measurement, press the START/STOP button again to stop the chronograph hands. The measured time will be displayed.



4. Restart measuring time.

Upon pressing of the START/STOP button again, the chronograph hands restart moving from the position they had previously stopped.

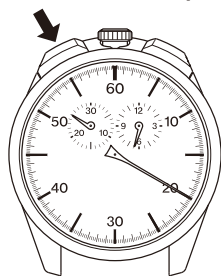


70

71

5. Stop measuring time.

At the moment you want to finish the measurement, press the START/STOP button again to stop the chronograph hands. The measured time displayed at this time will be the total of the first and the second measurement (accumulated elapsed time).

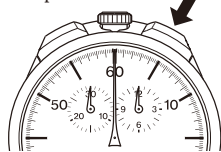


6. Repeat measuring time cumulatively.

Step 4 and 5 above can be repeated as required. As you repeat pressing of the START/STOP button, the measurement will stop and restart and each elapsed time measurement will be accumulated.

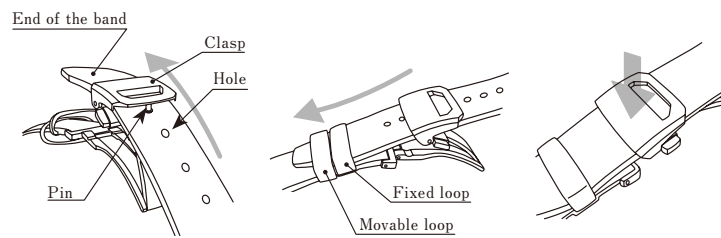
7. Reset the chronograph hands.

After stopping the chronograph hands, press the RESET button to return all the chronograph hands to the 0 position.



72

■ HOW TO USE THE THREE-PIECE FOLDOVER CLASP FOR A LEATHER BAND



1. Unfasten the clasp, and slide the end of the band (at the 12 o'clock side) into it. Fix the length of the band by placing the pin into an appropriate hole.

2. Insert the end of the band into both the movable loop and the fixed loop.

3. Push the clasp down until it clicks to securely fasten the band.

※ When wearing the watch, make sure that you insert the end of the band into both the movable loop and the fixed loop, and then securely fasten the clasp.

73

■ REMARKS ON AFTER-SALES SERVICING

- Your IZUL watch was strictly checked and completely adjusted at the factory to ensure its high accuracy. However, if your watch gets out of order with the correct way of use as described in this instruction booklet within the guarantee period, take your watch to the dealer from whom your watch was purchased together with the certificate of guarantee. The watch will be repaired and adjusted free of charge by the manufacturer.
- The guarantee period is one year from the date of purchase. For the movement only, this guarantee period is extended to two years from the date of purchase. More detailed guarantee coverage is provided in the certificate of guarantee.
- For repair services after the guarantee period has expired or for any other information regarding the IZUL watch, please contact the retailer from whom your watch was purchased or the "CUSTOMER SERVICE DEPARTMENT" of SEIKO WATCH CORPORATION.

74

■ REMARKS ON REPLACEMENT PARTS

- SEIKO makes it policy to usually keep a stock of spare parts for IZUL watches for 10 years. In principle, your watch can be reconditioned within this period if used normally. (Replacement parts are those which are essential to maintaining the functional integrity of the watch.)
- The number of years that a watch is considered repairable may vary greatly depending on the conditions under which it was used, and normal accuracy may not be achieved in some cases. We recommend, therefore, that you consult the retailer from whom the watch was purchased when having them repair your watch.
- The case, dial, hands, glass and bracelet, or parts may be replaced with substitutes if the originals are not available.
- For any other information, contact the retailer from whom your watch was purchased or the "CUSTOMER SERVICE DEPARTMENT" of SEIKO WATCH CORPORATION.

75

■ TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

⚠ CAUTION CARE OF YOUR WATCH

- The case and bracelet touch the skin directly just as underwear.
- If they are left dirty, the edge of sleeve may be stained with rust of those who have a delicate skin may have a rash.
- After removing the watch from your wrist, wipe perspiration or moisture with a soft cloth. This will prevent the watch from being soiled, adding to the life of the gasket.
- Do not clean the watch with chemicals (especially with organic solvents such as benzene, thinner, alcohol, detergent, etc.). Otherwise, the watch may be deteriorated.

LEATHER BAND

- When removing moisture from a leather band, do not rub the band with the cloth as they may discolor it or reduce its gloss. Be sure to blot up the moisture using a soft dry cloth.
- Please note that leather bands may become less durable when they are moistened.

METAL BRACELET

- Clean the watch bracelet with a soft toothbrush dipped in water or soapy water.

76

⚠ CAUTION RASH AND ALLERGY

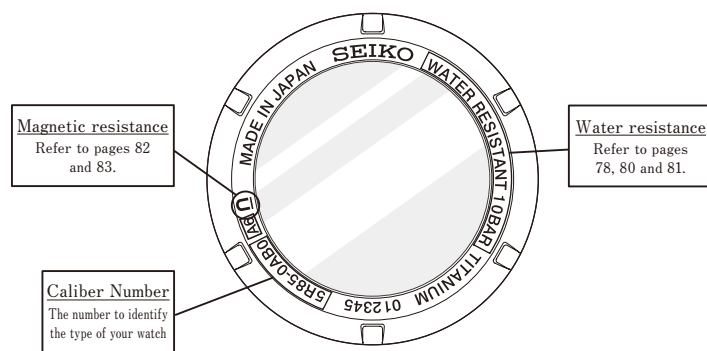
- Adjust the bracelet and band so that there will be a little clearance between the bracelet or band and your wrist to avoid accumulation of perspiration.
- If you are constitutionally predisposed to rash, the band may cause you to develop a rash or an itch depending on your physical condition.
- The possible causes of the rash are as follows:
 1. Allergy to metals or leathers
 2. Rust, dust or perspiration on the watch or band
- If you develop any skin reactions, take off the watch and consult a doctor immediately.

77

⚠ WARNING WATER RESISTANCE

- If your watch is 3 bar water resistant, do not use it in water.
- If your watch is 5 bar water resistant, do not use it in any type of diving including skin diving.
- If your watch is 10 or 20 bar water resistant, do not use it in saturation diving or scuba diving.

The case back shows the caliber and performance of your watch



※ The above figures are examples. Both of them may be different from the figure on the case back of your watch.

⚠ CAUTION WATER RESISTANCE

· Check the dial or case back of your watch for the water resistant quality, and then see the table below.

Indication for water resistance a: Indication on the dial b: Indication on the case back	Degree of water resistance	Condition of use
		Designed and manufactured to withstand accidental contact with water such as splashes and rain.
a No indication b No indication	No water resistance	✗
a No indication b WATER RESIST	Water resistance (3 bar)	○
a No indication b WATER RESIST or WATER RESIST 5 BAR	Water resistance (5 bar)	○
a No indication, or WATER RESIST 10 BAR b WATER RESIST 10 BAR	Water resistance (10 bar)	○
a No indication, or WATER RESIST 20 BAR b WATER RESIST 20 BAR	Water resistance (20 bar)	○

· Do not turn or pull out the crown when the watch is wet, as water may get inside the watch.

Icons	Suitable for swimming, yachting and other aquatic sports as well as for works closely associated with water such as kitchen work, watering and fishing.	Suitable for shallow diving without a heavy breathing apparatus.	Genuine diving using scuba.	Genuine diving using helium gas.
✗	✗	✗	✗	
✗	✗	✗	✗	
○	✗	✗	✗	
○	○	✗	✗	
○	○	✗	✗	

● MAGNETIC RESISTANCE

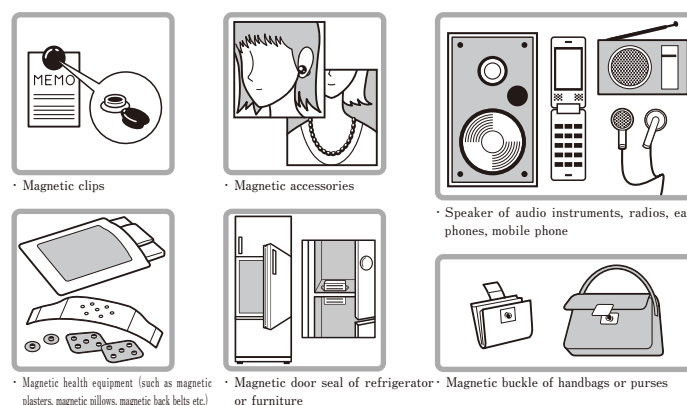
· IZUL Spring Drive conforms to the Magnetic Resistance Standard* of JIS Class 1. The watch has magnetic resistance to maintain performance in most cases even where it is brought close to (at least 5cm spaced from) equipment generating a magnetic field in normal life. However, the movement part is magnetized when it encounters a strong magnetic field, thereby accuracy may go out of order. Pay attention so as not to bring the instrument close to equipment (health appliances, speakers, and mobile phones using a magnet) generating a strong magnetic field within 5cm.

Classification of JIS antimagnetic watches	Certified level of magnetic resistance	Indication of antimagnetism on the case back	Antimagnetic quality
Class 1	4800A/m	⌒	The watch has magnetic resistance to maintain performance in most cases where it is brought close to (at least 5cm spaced from) equipment generating a magnetic field in normal life.

· If the accuracy exceeds the accuracy target range (± 15 seconds/month) during normal usage due to magnetization, removal of magnetism and accuracy readjustment works are charged regardless of the guarantee period.

● Magnetized items that may affect watches

· Examples of common items that generate a magnetic field



● PLACES TO KEEP YOUR WATCH

- If the watch is left in a temperature below -10°C or above +60°C for a long time it may function improperly or stop operating.
- Do not leave the watch in a place where it will be subjected to strong magnetism (for example, near television sets, loudspeakers or magnetic necklaces) .
- Do not leave the watch where there is strong vibration.
- Do not leave the watch in a dusty place.
- Do not expose the watch to gases or chemicals. (Ex.: Organic solvents such as benzene and thinner, gasoline, nail polish, cosmetic spray, detergent, adhesives, mercury, and iodine antiseptic solution.)
- Do not leave the watch in close contact with hot spring water, or do not keep it in a drawer having insecticides inside.

● Inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul)

- Inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) of this watch will be performed by SEIKO. When you take the watch to the retailer from whom it was purchased, request that the watch be inspected and overhauled by SEIKO.
- We suggest that you have your watch checked by SEIKO (overhaul) every 3 to 4 years for long-time use of your watch.
 - ※ The movement of this watch has a structure that consistent pressure is applied on its power-transmitting wheels. To ensure these parts work together properly, periodic inspection including cleaning of parts and movement, oiling, adjustment of accuracy, functional check and replacement of worn parts is needed.
- Inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) within 3 to 4 years from the date of purchase is highly recommended for long-time use of your watch. According to use conditions, the oil retaining condition of your watch mechanical parts may deteriorate, abrasion of the parts may occur due to contamination of oil, which may ultimately lead the watch itself to stop. As the parts such as gasket may deteriorate, water-resistant performance may be impaired due to intrusion of perspiration and moisture. Please contact the retailer from whom the watch was purchased for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul). For replacement of parts, please specify "SEIKO GENUINE PARTS." When asking for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul), make sure that the gasket and push pin are also replaced with new ones.
- For any questions or concerns, contact the "CUSTOMER SERVICE DEPARTMENT" of SEIKO WATCH CORPORATION.

■ TROUBLESHOOTING

86

Trouble	Possible cause
The watch stops operating. (The chronograph hands do not move.)	The mainspring is not wound.
Even though you wear the watch every day, the power reserve indicator does not move up.	The watch is worn on your wrist only for a short period of time, or the amount of arm movement is small.
The watch temporarily gains or loses time.	The watch has been left in extremely high or low temperatures.
	The watch has been left close to an object with a strong magnetic field.
	You drop the watch, hit it against a hard surface, or wear it while playing active sports. The watch is exposed to strong vibrations.
The inner surface of the glass is clouded.	Moisture has entered the watch because the gasket has deteriorated.
The watch stops even though the power reserve indicator is not showing "0."	The watch has been left at a temperature below 0°C.
Right after starting the watch, it seems that the second hand moves more quickly than usual when setting the time.	When starting the watch, it takes a little time before the adjustment function starts working (this is not a malfunction).
The date changes during daytime.	The time is set 12 hours advanced or delayed.

※ In the event of any other problem, please contact the retailer from whom the watch was purchased.

87

Solution
Wind the mainspring and reset the time. While you are wearing the watch or when you take it off, check the remaining power shown by the power reserve indicator and wind the mainspring if necessary.
Wear the watch for an extended period of time, or when taking off the watch, turn the crown to wind the mainspring if the remaining power shown by the power reserve indicator is not sufficient for the next use.
Return the watch to a normal temperature so that it works accurately as usual, and then reset the time. The watch has been adjusted so that it works accurately when it is worn on your wrist under a normal temperature range between 5°C and 35°C.
Correct this condition by moving and keeping the watch away from the magnetic source. If this action does not correct the condition, contact the retailer from whom the watch was purchased.
Reset the time. If the watch does not return to its normal accuracy after resetting the time, contact the retailer from whom the watch was purchased.
Contact the retailer from whom the watch was purchased.
If the watch is left at a temperature below 0°C, it may stop if the power reserve indicator is showing less than one-sixth of the power reserve. In such a case, turn the crown to wind the mainspring.
It takes several seconds before the adjustment function starts working. Set the time after the second hand moves for approximately 30 seconds to set the time correctly.
While turning the crown, the moment the date changes is midnight. Reset the time, ensuring that AM/PM is set correctly.

Refer to "How to manually wind the mainspring by turning the crown" on page 57. Refer to "HOW TO SET THE DATE AND TIME" on page 60.

■ SPECIFICATIONS

88

- Features: 3 hands (hour, minute and small second hands, Calendar display, Power reserve indicator Chronograph: Center chronograph second hand, Chronograph hour and minute hands)
 - Frequency of crystal oscillator: 32,768 Hz
 - Loss/gain (monthly average) : ± 15 seconds (± 1 second per day) (worn on your wrist at normal temperature range between 5°C and 35°C)
 - Operational temperature range: between -10°C and +60°C
※ Under the low-temperature condition (below 0°C), always keep at least one sixth of the watch power shown by the power reserve indicator.
 - Driving System: Mainspring (Self-winding type with manual winding function)
 - Hand movement: Glide-motion hands
 - Continuous operable time: Approx. 72 hours (Approx. 3 days) when the normal time display function and stopwatch function are used. (If the power reserve indicator shows the power supplied by the mainspring is full before starting the watch.) Depending on conditions of use, the continuous operable time may become shorter than the above.
 - IC (Integrated Circuit) : Oscillator, frequency divider, and spring drive control circuit (C-MOS-IC) : 1 piece
 - Number of jewels: 49 jewels
- ※ The specifications are subject to change without prior notice due to product improvements.

イズル専用フリーダイヤル
0120-302-617

受付時間：月曜日～金曜日 9:30～21:00
土曜・日曜・祝日 9:30～17:30

お客様相談室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル
〒550-0013 大阪市西区新町1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

セイコーウォッチ株式会社

本社 〒105-8467 東京都港区芝浦1-2-1
<http://www.seiko-watch.co.jp/>